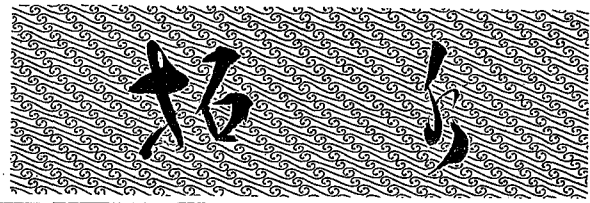


(会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区中之島2の2
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

これに決めた!

水産資源の拡大をめざす プラス かんきん



水産資源の拡大をめざす (6,352,000)	新しい漁場と漁港を整備する (4,814,385)	沿岸漁場の整備開発	682,987
	そだてる漁業を充実する (185,782)	漁港の整備	3,863,779
		漁場環境の保全	267,619
	漁業経営の安定化をめざす (1,351,833)	栽培漁業の推進	121,385
養殖漁業の推進		64,397	
漁業構造の改善		491,819	
漁業経営の安定化をめざす (1,351,833)	漁業金融・共済制度の充実	759,014	
	水産物流通加工の近代化	101,000	

一、新しい漁場と漁港を整備する。水産物の需要に即応した供給体制の確立と沿岸漁業の振興を図るため、第二次沿岸漁場整備開発計画を新たに策定し、沿岸漁場の生産基盤である漁場の整備を促進することとし、大型並型魚礁、人工魚礁場及び大規模増殖場の設置を引き続き実施する。

さらに、但馬海域の特性に応じた開墾方式を策定するため、昭和五十五年度から実施している但馬沿岸漁場開発基礎調査の一環として、新たに海底地形、地質調査を実施する。

一方、漁業生産基盤の確立を図り、水産物の安定的供給等に資するため、新たに第七次漁港整備長期計画を策定し、これに基づき漁港の整備を実施する。

二、そだてる漁業の充実。人工種苗を大量に放流し、漁場における資源の増大を図る栽培漁業の推進管理型漁業の中心をなすものであり、極めて重要である。

そこで、水産資源の維持増進と高度利用を図ることとし、つくり育てる漁業をめぐした種苗の生産、放流等の事業を積極的にすすめるため、栽培漁業のセンターを明石市二尾に開設する。

また、内水面漁業の振興を図るため、あゆの稚魚放流やまぐさ、ますの人工ふ化放流を実施するほか、アマゴ、ニジマス等の魚病対策について研究をすすめる。

一方、のり養殖業については、生産過剰や品質低下がみられるので、市場競争力のある生産体制を確立する。

昭和57年度 水産予算きままる

水産資源の拡大をめざす

兵庫県水産課

まづ、神戸海洋気象台が57年2月に実施した黒潮流の観測により、黒潮の流れは四国以西で本州沿岸に接岸しているが、紀伊半島沖からやや離れし東海沖には冷水塊が存在して蛇行がみとめられます。一方、表面水温の分布の型は昭和38年、46年と類似しており、春夏秋冬の水温はほぼ例年並と予想されています(図1・2参照)。

さて、去る3月中旬に高知市で予報会議が開催されましたが、その時発

とブランド化の確立に努める。

なお、自然や水産資源を大切にする心を育み、水産業に対する認識を深めるため、全国豊かな海づくり大会を兵庫県で開催する。

三、漁業経営の安定化をすすめる。

沿岸漁業の構造改善を推進するため、生産条件、漁村環境の整備等を総合的に進め、新設沿岸漁業構造改善事業を積極的に推進する。

また、燃油価格は、燃

油使用割合の高い漁業にとって深刻な影響を及ぼしており、さらに諸資材の高騰並びに産地魚価の低減等により、漁業経営は極めて窮乏化しつつある。

このような事態に直面している漁業経営の維持安定を図るため、計画的な操業を推進するほか、金融対策として、漁業用燃料対策特別制度資金や日本海の沖合漁業の不振が漁協経営を圧迫しているため、これが健全化のため関係市町とともに預託方式の緊急運転資金融資制度を引き続き実施する。

一方、水産物流通加工については、新たに浜坂において水産物流通加工地域拠点整備事業を実施する。

漁海況情報 57年4月

兵庫県立水産試験場

瀬戸内海の水温も4月上旬には12℃に上昇し、上旬の終了とともにいよいよ漁期漁業の季節となってきています。今回は瀬戸内海東部の漁況と黒潮に密接な関連のある黒潮域での最近の情報をお知らせします。

まづ、神戸海洋気象台が57年2月に実施した黒潮流の観測により、黒潮の流れは四国以西で本州沿岸に接岸しているが、紀伊半島沖からやや離れし東海沖には冷水塊が存在して蛇行がみとめられます。一方、表面水温の分布の型は昭和38年、46年と類似しており、春夏秋冬の水温はほぼ例年並と予想されています(図1・2参照)。

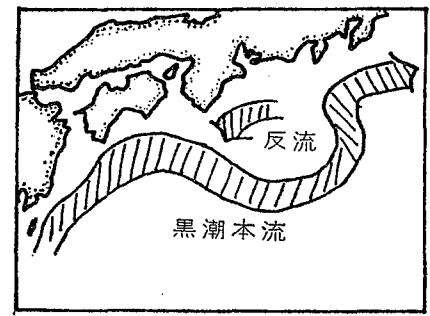


図1 黒潮表面の流向(57年2月)

表された結果を次に述べます。この予測は、一応57年4月9日の期間です。黒潮の主流(流れの中心)は九州東岸、四国沖で前半は離岸現象がみられるが、後半は接岸するものとみられます。室戸岬から、海区全般としては前年並かややこれを上回る漁獲が期待される。

現在、外海域での資源水準は低い状態にあり、これが急激に回復するとは考えられませんが、去年からの漁獲の推移や産卵状態からみてやや向上のきざしもみられることから、海区全般としては前年並かややこれを上回る漁獲が期待される。

マアジ：マアジ資源はカタクチイワシと同様全国的に著しく低い水準で漁獲量はここ10年間で半に減少している。とくに従来最も大きな資源であった東支那海中部群が大きく減少しており、この方面からの捕撈がなくなり、各地ローカル群により、各所に依存している。南海海区では54年を谷としてやや向上の傾向にある。

マアジ資源は低水準を脱しておらず、この傾向は55年以降漁獲量が漸増していることから、57年度上半期も0才群を

シラス：最近におけるマアジ、カタクチイワシの資源状態や産卵状態からみて、昭和57年度上半期のシラス漁況は次のように予測される。

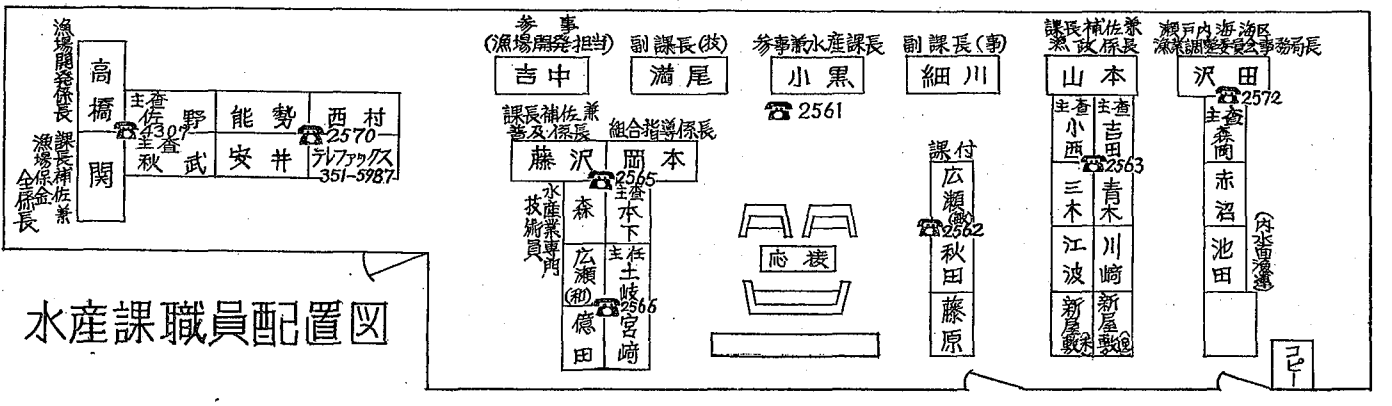
まづ、シラス(マイワシのシラス)が主体となる春季シラス漁は、今冬季のマイワシ産卵量が多かったこと、日向灘から紀伊水道にかけて前年並かややそれを上回る漁獲が期待される。ただ黒潮の離岸現象がみられること、春・夏にかけてカタクチ主体のシラス漁が期待される。

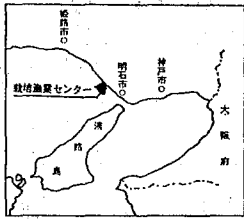
以上が九州、四国、紀南海域における主要魚種の資源状態と予測ですが、紀伊水道を経て大阪湾や播磨灘に到達してきますので、大いに参考となるでしょう。なお、今冬の大坂湾や播磨灘では栄養塩類が前年に引き続き不足気味でしたが、57年3月中旬以降は例年並に回復しつつあり、一方水温は現在例年並に上昇していますので、以上の主要魚種の来遊にそれぞれ資源水準に対応して期待されるものと思われます。

参考資料：『海洋概報』(第85号)・神戸海洋気象台・南海海区長期漁海況予報・57年3月。(資源部)

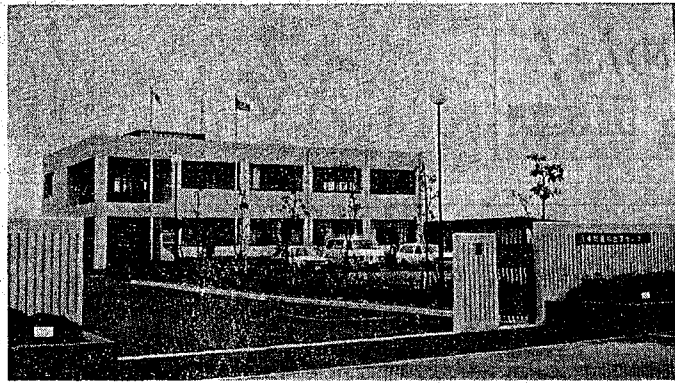


図2 黒潮表面の水温(57年2月)

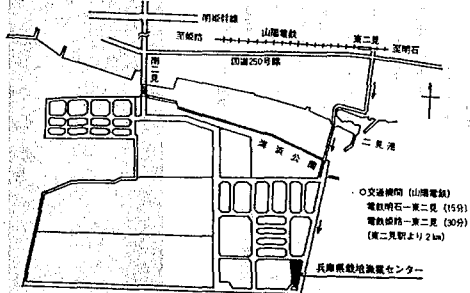




位置図



育てる漁業を推進する
兵庫県栽培漁業センターオープン

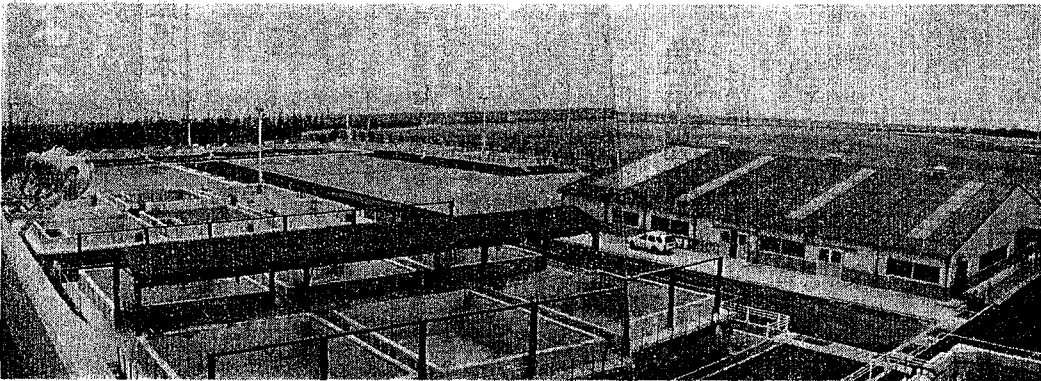


設立の目的

▲管理棟

栽培漁業を推進するため、その最も基本となる魚類の種苗を大量に生産するための施設です。

また、栽培漁業技術の啓蒙普及をはかるため、研修室・展示室を設置しました。



明石市二見町
南二見22-1
☎ 078-943-8113
☎ 673-01

施設配置図

▲飼育棟・飼育池

施設の概要

運 営

種苗生産業務は、財団法人兵庫
県水産業改良普及協会 (理事長山
田岸松) に委託。
職 員 10名
総務課 3名 業務課 7名

業 務 内 容

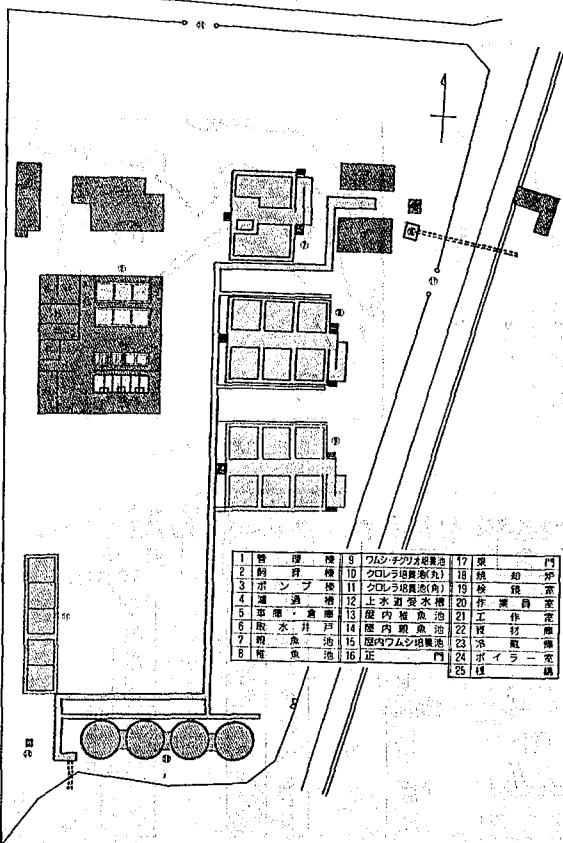
1. 水産動植物の種苗生産および配布。
2. 種苗量産技術の改良。
3. 栽培漁業技術の啓蒙普及。

種苗生産計画

魚種	年度	57年	58年	59年
マダイ		60万尾	90万尾	100万尾
ヒラメ	10	10	10	10
マコガレイ	10	10	10	10
その他				

建設の概要

1. 敷 地 18,400㎡
2. 総工費 702,000千円
3. 建設期間 昭和54年度～昭和56年度
4. 開 設 昭和57年4月



施設名	構造	面積(㎡)	備 考
管理棟	鉄筋コンクリート2階建	500	事務室、研究室、展示室、研修室その他
飼育棟	鉄骨平家建	1,050	総面積42㎡、作業員室28㎡、工作室50㎡、資料室50㎡、飼育室16㎡、冷凍庫16㎡、ボイラー室50㎡、稚魚池20.8×6池、稚魚池7.5×4×2池、4.5×4×4池、フムシ池8池、11×6池
ポンプ棟	鉄筋コンクリート2階建	202	ポンプ室81㎡、プロフ-室40.5㎡、自來水室40.5㎡、発電室40㎡
倉庫・印刷	鉄骨平家建	99	倉庫、印刷
濾過装置			自動濾過式、ろ過面積17.28㎡、給排水量110㎡/日×2基
飼育池			稚魚池8m×8m×2池 5.5m×5.5m×2池 4m×3m×1池 稚魚池7m×8m×1.8×6池 フムシ池7m×8m×1.5×6池 クロレラ池(丸)10m×1×4池 クロレラ池(角)16.5m×6.5m×1×5池
ポンプ			2100ℓ/min×18Kw 2台(生海水用) 1800ℓ/min×15Kw 4台(バコカ海水用) 500ℓ/min×3.7Kw 2台(クロレラ用)
発電機			発電180Kw 自來水200kVA
プロフ-			φ1000×3.5m/min×4m×11Kw
ボイラー			70,000Kcal/H 1基、280,000Kcal/H 1基
取水装置			取水管φ1.5m、.35m取水井φ3m×3
柱 橋	鉄筋コンクリート	52	
自動車		2台	ライトバン(1,800cc)、トラック(2トン)
作業船		2隻	約2トン、船外機

水試ノート

タチウオの資源調査

水試における調査研究のひとつに重要水域環境調査がある。その業務の一環として漁業生物調査を実施してきている。

この漁業生物調査は、小型漁業調査船「さちかぜ」を使い、毎月二回明石海峡周辺海域におけるアイナメ、マダイ、マダコ、アナゴ等の底魚資源実態調査を、また季節的

タチウオの回遊状況 タチウオの産卵場所は和歌山県日ノ御から徳島県浦生田崎に至る水深六〇〜七〇m 底質は軟泥の海域である。この場所

タチウオの成長と回遊 タチウオの成長と回遊は約四〜五歳で完了する。この時期は夏仔群と呼ばれ

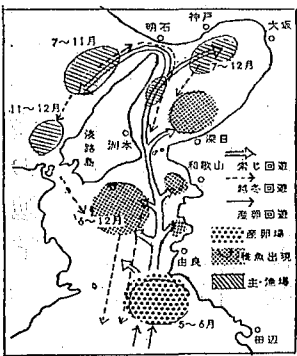


図1 タチウオの回遊模式図

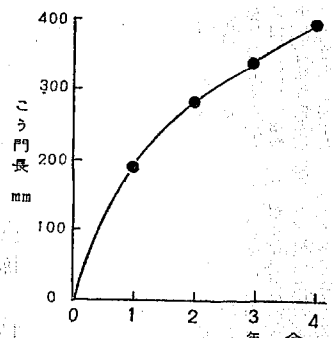
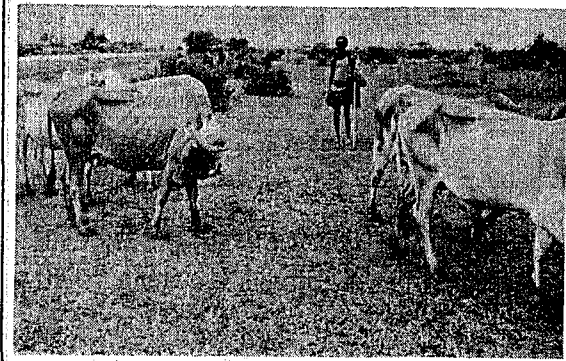


図2 タチウオ成長図 (坂本・1976)

仔群(二〇〇g級)が、水温一七℃を示す五月上旬頃から紀伊水道を北上しはじめ、洲本沖から淡路東浦沖を経て、神戸沖と明石海峡を通過して西之瀬周辺の播磨灘に入る

この時期は通常一二月中旬頃であるが、魚群量が多くかつ暖冬の年には南下が二〇日間程度遅れ一二月中旬頃まで漁期が



典型的なサバンナにおける遊牧の牛群と牛追のソマリ青年

「サバンナの漁村」と題しながら、話がサバンナにとどまってい」という声がある。今回は、漁村の方へ話の舵(かじ)を取ろう。

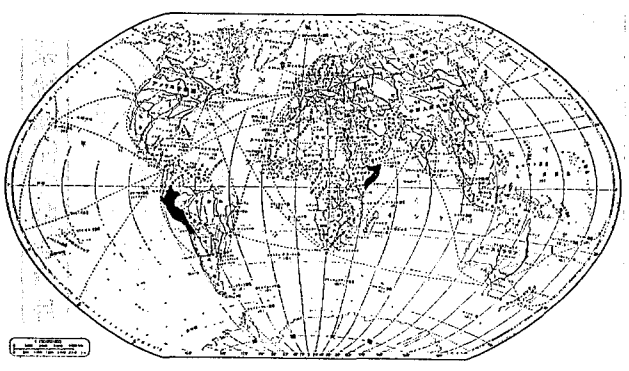
この遊がミクロネシア(旧南洋委任統治領)、ポリネシアなどに多くみられる沈性サンゴ礁海岸であって、海岸の小屈曲が多く、ひろい礁がみられ、とくに環礁(アトール)が多いことが特色

シリーズ・途上国の水産

川越 敬一

サバンナの漁村(3)

プロミル以上でなければならぬ。読者のなかには、戦時に東南アジアや太平洋諸島のサンゴ礁を体験された方もあるだろう。また若い方も、沖縄



シガテラ毒の原因となるシガテラは、サンゴ礁の新生面に多く発生する。港湾工事でコンクリートブロックを沈めたり、サンゴ礁を削ったりすると

Advertisement for Ise Marine Engines (いすゞ マリンエンジン UM06BB1B). It features a large image of the engine and text describing its features: 1. Small, light weight, high output; 2. Excellent durability and reliability. The company name is Ise Motor Vehicle Co., Ltd.

